

精華町長 杉浦 正省 様

精華町監査委員 井 上 直 樹

同 坪 井 久 行

令和 2 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

第 1 審査の期間

令和 3 年 6 月 2 5 日から 8 月 3 日まで

第 2 審査の手続

町長から提出された決算諸表が、事業内容を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手続を実施した。また、地方公営企業法第 3 条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

第 3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績をおおむね適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、法令に従い、おおむね適正に処理されているものと認める。

第4 補足意見

1 指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況について

指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況を概観する。

病床利用率は、平成23年度に医療法人医仁会が指定管理者に再指定されて以降、95%前後で推移していたが、当年度は89.2%（前年度92.5%）となっている。患者数は、入院が16,287人（前年度16,924人）と前年度より減少したが、外来は41,653人（前年度40,980人）と増加している。また、患者一人の一日当たりの診療収入は、入院は26,820円（前年度26,550円）に増加し、外来も9,006円（前年度8,693円）に増加している。これらの結果、収益面では、入院が436,810千円（前年度449,331千円）、外来が375,126千円（前年度356,236千円）、訪問リハビリなどのその他が35,574千円（前年度43,965千円）となっている。参考までに、指定管理者に指定された平成18年度、指定管理者に再指定された平成23年度及び当年度の患者数は以下のとおりである。

（単位：人）

	令和2年度	平成23年度	平成18年度
入院患者数	16,287	17,283	8,297
外来患者数	41,653	27,952	25,815
合計	57,940	45,235	34,112

年度末現在の職員数をみると、医師は前年度末同様7名であり、看護師24名（前年度25名）も含めた職員数は71名（前年度末73名）となっている。また、非常勤職員数について、医師は前年度末から1名減少し18名、看護師15名（前年度末15名）など、合計55名（前年度末57名）であり、年度末現在の職員数は減少している。医業費用に含まれる給与費は591,478千円となり、前年度の622,335千円から30,858千円（5.0%）減少している。また、前々年度から監査法人の指導に基づき退職給付引当金を計上しており、当年度引当額が特別損失に19,457千円計上されている。

以上の結果、当年度の医業利益は22,829千円（前年度は医業損失9,115千円）、当年度純利益は7,994千円（前年度は純損失26,986千円）となっている。主な数字の5年推移を以下に掲げる。

なお、平成28年度から令和元年度までは純損失を計上していたが、当年度は、年度当初に新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、純利益を計上した。近年、収入合計が堅調な推移を示す一方で、給与費負担が増加してい

たが、令和元年度と当年度を比較すると、収入合計額はそれぞれ854,988千円、855,947千円に対し、給与費はそれぞれ622,335千円、591,478千円であり、当年度は給与費負担が減少した。

また、平成27年度に142,977千円まで縮小した累積赤字（繰越損失）も、当年度末では206,004千円（前年度213,998千円）になっている。そのため、町から指定管理者に対して、例年どおり、令和2年6月に1億円を貸し付け、令和3年3月にその返済を受けている。利率は0.007%であり、この貸付金により医業外収益に計上された受取利息は5,369円である。

なお、令和3年3月31日で指定管理期間が終了し、医療法人医仁会が指定管理者に再指定された。町は、指定管理者との2か月に一度の定例会合などの情報交換を継続し、当事者としての問題意識を持って状況把握に努めることが必要である。

（単位：人、千円）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
入院患者数	16,287	16,924	16,763	17,447	17,426
外来患者数	41,653	40,980	39,988	37,540	35,685
医業収益	847,510	849,532	838,887	827,954	809,719
医業費用	824,681	858,647	838,507	830,370	813,467
医業利益	22,829	△9,115	380	△2,416	△3,748
純利益	7,994	△26,986	△17,888	△1,127	△2,321
繰越損失	△206,004	△213,998	△187,012	△146,363	△145,299

第5 決算の概要

1 予算執行状況について

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	30,408	30,198	△ 210	99.3
医業外収益	30,408	30,198	△ 210	99.3

収益的収入の決算額は、30,198千円で、予算額30,408千円に対し、210千円の減、収入率は99.3%となっている。予算額に対する医業外収益の減は、一般会計負担金の減等によるものである。

イ 収益的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	43,423	43,352	0	71	99.8
医業費用	43,322	43,351	0	△ 29	100.1
医業外費用	101	1	0	100	0.7

収益的支出の決算額は、43,352千円で、予算額43,423千円に対し、71千円の減、執行率は99.8%となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 30,198千円

支出決算額 43,352千円

であり、収支差引13,154千円の赤字となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
資本的収入	105,000	100,000	△ 5,000	95.2
他会計負担金	5,000	0	△ 5,000	0.0
貸付金償還金	100,000	100,000	0	100.0

資本的収入の決算額は、100,000千円で、予算額105,000千円に対し、5,000千円の減、収入率は95.2%となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

イ 資本的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	105,000	100,000	0	5,000	95.2
建設改良費	5,000	0	0	5,000	0.0
貸付金	100,000	100,000	0	0	100.0

資本的支出の決算額は、100,000千円で、予算額105,000千円に対し、5,000千円の減、執行率は95.2%となっている。

建設改良費の決算額は、0円で、病院施設老朽化等による緊急時対応工事が発生しなかったため、事業が実施されなかったことによるものである。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 100,000千円

支出決算額 100,000千円

であり、収支差引0円となっている。

2 経営成績等

(1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	
			金 額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	—
医業費用	43,351	49,220	△ 5,868	△ 11.9
医業利益	△ 43,351	△ 49,220	5,868	—
医業外収支				
医業外収益	30,198	30,892	△ 694	△ 2.2
医業外費用	1	1	△ 0	△ 1.8
医業外利益	30,197	30,891	△ 694	△ 2.2
経常利益	△ 13,154	△ 18,328	5,174	—
特別損益	0	0	0	—
特別利益	0	0	0	—
特別損失	0	0	0	—
純利益	△ 13,154	△ 18,328	5,174	—

医業損益は43,351千円の損失で、前年度と比較して損失が5,868千円（11.9%）減少、医業外損益は30,197千円の利益で、前年度と比較して694千円（2.2%）減少している。この結果、経常利益は、13,154千円の赤字となった。特別損益が発生しなかったことから、純損失は、13,154千円で、前年度と比較して損失が5,174千円減少している。

ア 収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	
			金 額	率
医 業 収 益	0	0	0	—
入院収益	0	0	0	—
外来収益	0	0	0	—
その他医業収益	0	0	0	—
医 業 外 収 益	30,198	30,892	△ 694	△ 2.2
受取利息及び配当金	5	2	4	246.4
国・府補助金	0	0	0	—
負担金交付金	12,113	10,228	1,885	18.4
長期前受金戻入	17,340	19,959	△ 2,619	△ 13.1
その他医業外収益	739	703	36	5.2
特別利益	0	0	0	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
その他特別利益	0	0	0	—
合 計	30,198	30,892	△ 694	△ 2.2

医業収益は、利用料金制により指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生していない。

医業外収益は、30,198千円で、前年度と比較して694千円（2.2%）減少している。これは、前年度に固定資産の償却限度額の変更を行ったことに伴う長期前受金戻入の増加があったため、当年度においては長期前受金戻入が2,619千円減少したことなどによるものである。

以上の結果、総収益は、30,198千円で、前年度の30,892千円と比較して694千円（2.2%）の減少となっている。

イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	
			金 額	率
医 業 費 用	43,351	49,220	△ 5,868	△ 11.9
給与費	9,147	9,113	33	0.4
経費	3,723	1,835	1,888	102.9
減価償却費	30,482	37,987	△ 7,506	△ 19.8
資産減耗費	0	284	△ 284	皆減
研究研修費	0	0	0	—
医 業 外 費 用	1	1	△ 0	△ 1.8
支払利息及び 企業債取扱諸費	1	1	△ 0	△ 1.8
雑支出	0	0	0	—
特別損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	0	0	0	—
合 計	43,352	49,220	△ 5,868	△ 11.9

医業費用は、43,351千円で、前年度と比較して5,868千円（11.9%）減少している。これは、前年度に固定資産の償却限度額の変更を行ったことに伴う減価償却費の増加があったため、当年度においては減価償却費が7,506千円減少したことなどによるものである。

医業外費用は、1千円で、前年度と比較して微減（1.8%）している。

以上の結果、総費用は、43,352千円で、前年度の49,220千円と比較して5,868千円（11.9%）の減少となっている。

(2) 純利益額等の推移について

平成24年度以降の純利益（損失）額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支及び純利益（損失）額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益（損失）額推移表

（単位：千円）

年度	純利益（損失）額	利益剰余金	他会計からの繰入金
24年度	△ 26,288	△ 73,973	9,921
25年度	△ 26,677	△ 100,650	9,071
26年度	△ 14,662	256,106	9,638
27年度	△ 14,178	241,928	9,038
28年度	△ 13,231	228,696	9,953
29年度	△ 2,881	225,816	10,385
30年度	△ 13,189	212,627	9,922
令和元年度	△ 18,328	194,299	10,228
令和2年度	△ 13,154	181,145	12,113

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表（参考）

年度	許可病床数	患者延数	1日平均患者数	病床利用率	備考
24年度	50床（18,250床）	17,278人	47.3人	94.7%	指定管理者による運営
25年度	50床（18,250床）	17,342人	47.5人	95.0%	
26年度	50床（18,250床）	17,365人	47.6人	95.2%	
27年度	50床（18,300床）	17,063人	46.6人	93.2%	
28年度	50床（18,250床）	17,426人	47.7人	95.5%	
29年度	50床（18,250床）	17,447人	47.8人	95.6%	
30年度	50床（18,250床）	16,763人	45.9人	91.9%	
令和元年度	50床（18,300床）	16,924人	46.2人	92.5%	
令和2年度	50床（18,250床）	16,287人	44.6人	89.2%	

◎ 外来患者数推移表（参考）

（単位：人）

年度	患者総数	1日平均	内科	外科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
24年度	27,729	94	14,187	2,132	470	0	1,794	6,252	2,894	-	指定管理者による運営 ※平成25年度以降のリハビリの患者数は、整形外科における患者数の内数です。
25年度	31,156	106	14,194	2,389	2,308	(905)	1,998	6,912	3,355	-	
26年度	35,608	121	15,742	2,631	3,474	(1,327)	2,299	7,125	4,337	-	
27年度	35,821	121	14,779	2,053	4,344	(2,142)	2,390	7,682	4,183	390	
28年度	35,685	121	14,694	2,112	4,708	(2,161)	2,461	7,544	3,757	409	
29年度	37,540	125	14,571	1,888	6,093	(3,354)	2,681	7,946	3,835	526	
30年度	39,988	137	15,084	2,636	5,961	(3,352)	2,658	8,964	4,166	519	
令和元年度	40,980	139	14,469	2,766	6,694	(3,716)	2,664	9,483	4,384	520	
令和2年度	41,653	142	14,283	2,849	7,365	(4,064)	2,899	8,895	4,807	555	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比（参考）

年度 区別	医業収益 (千円)	人件費		薬品費		人件費・薬品費計		備考
		金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	
24年度	733,859	505,967	68.9	52,865	7.2	558,832	76.1	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値とし、比率は、これら合算した金額に基づき算出した数値としています。)
25年度	787,410	539,737	68.5	64,363	8.2	604,101	76.7	
26年度	839,272	564,777	67.3	60,919	7.3	625,696	74.6	
27年度	835,878	581,948	69.6	57,792	6.9	639,740	76.5	
28年度	809,719	593,499	73.3	57,937	7.2	651,437	80.5	
29年度	827,954	614,084	74.2	58,156	7.0	672,240	81.2	
30年度	838,887	627,690	74.8	55,631	6.6	683,321	81.5	
令和元年度	849,532	631,449	74.3	59,200	7.0	690,648	81.3	
令和2年度	847,510	600,625	70.9	56,469	6.7	657,093	77.5	

◎ 医業収支と純利益（損失）額推移表（参考）

（単位：千円）

年度 区別	医業収益	医業費用	差引医業利益(損失)	純利益(損失)	備考
24年度	733,859	744,289	△ 10,430	△ 430	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値としています。)
25年度	787,410	792,816	△ 5,406	5,087	
26年度	839,272	842,168	△ 2,896	24,544	
27年度	835,878	843,931	△ 8,053	22,160	
28年度	809,719	854,650	△ 44,931	△ 15,553	
29年度	827,954	871,912	△ 43,958	△ 4,007	
30年度	838,887	879,587	△ 40,700	△ 31,077	
令和元年度	849,532	907,866	△ 58,335	△ 45,314	
令和2年度	847,510	868,032	△ 20,523	△ 5,160	